

## 埼玉県自立支援協議会精神障害者地域支援体制整備部会(R7.3.11) および同部会ワーキンググループ(R7.1.29)の取組

### 令和6年度議題

- ・入院者訪問支援検証事業（令和6年度新規事業）について
- ・法改正後の状況「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」における保健所・市町村の取組
- ・国の動向「精神保健医療福祉の今後の施策推進に関する検討会」



### 意見交換

#### 入院者訪問支援検証事業について

- ・訪問支援員養成研修の中身について、精神医療に関する中身が不十分。診断・治療などについて内容を加えた方が良い。
- ・訪問支援員養成研修の受講者のうちピアサポーターが半数以上であった。これは、これまで県が、事業所、保健所とともにピアサポーターの養成に取り組んできた成果として評価できる。
- ・（医療機関所属委員より）患者さんに事業の利用をすすめても、目的や支援内容を理解いただくことが難しく、なかなか利用希望に繋がらなかった。事業の説明方法や周知方法が課題。
- ・次年度以降は全県で事業を実施できるよう、県にはぜひ調整を進めて欲しい。

## 埼玉県自立支援協議会精神障害者地域支援体制整備部会(R7.3.11) および同部会ワーキンググループ(R7.1.29)の取組

### 意見交換

#### ・法改正後の状況「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」における保健所・市町村の取組

- ・今まで障害部門が主で「にも包括」に取り組んできた自治体でも、法改正を機に保健センターが勉強会やケース会議をしたいと保健所に相談する等、動きが変わってきている。
- ・日本精神科診療所協会が実施したアンケート結果の中で、市町村から「医療・医者にどう繋がったら良いか分からない」という記述が目立っていた。市町村と医療がどのように繋がっていくか問われている。
- ・市町村が精神保健体制を強化して、庁舎内の連携や重層的支援体制整備事業と精神保健の連動が進むよう、引き続き、県、精神保健福祉センター、保健所にはバックアップをお願いしたい。

#### 国の動向「精神保健医療福祉の今後の施策推進に関する検討会」

- ・「にも包括」の中に医療をどう組み入れるかということは非常に重要なこと。
- ・今まで精神科医療機関は、来る患者さんを診ることが中心だったが、これからは地域に溶け込んで地域の事業所等と一緒に取り組んでいくことが求められる。